

～雄大な根釧台地の酪農業と、地域HACCPで付加価値の高い漁業が営まれる地域を守る流域治水対策～

○昭和22年9月洪水で戦後最大の被害が発生した標津川水系では、近年においても平成10年、22年、27年等の洪水で甚大な被害が発生しており、農地部の流域治水プロジェクトとして以下の取り組みを一層推進していくことで、昭和22年9月と同規模の洪水に対応した治水対策を行い、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・堤防整備、河道掘削、河道内樹木伐採
 - ・土砂災害対策(砂防関係施設の整備等)
 - ・下水道の雨水管等の整備
 - ・内水被害軽減対策
 - ・治山施設等の整備
 - ・植栽、間伐などの森林整備
 - ・海岸保全施設の整備

- 海岸保全施設の整備(野付崎海岸・標津海岸)
- 高潮浸水シミュレーション(想定最大規模)の実施・公表

- 被害範囲を減少させるための対策**
- ・まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討
 - ・標津川流域に建築する人への災害リスク情報の提供

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・水害対応タイムラインの作成
 - ・重要水防箇所の共同点検
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画作成促進
 - ・関係機関と連携した避難訓練等の実施
 - ・幼少期からの防災教育の実施
 - ・ハザードマップ作成、充実と周知
 - ・水防資機材の充実と情報共有
 - ・水害リスク空白域の解消に向けた取組
 - ・高潮浸水シミュレーション(想定最大規模)の実施・公表

- 凡例
- 堤防整備
 - 樹木伐開・河道掘削
 - 浸水範囲(平成10年9月洪水実績)
 - 市街地(DID地区)
 - ⇄ 北海道知事管理区間
 - 流域界
 - 市町村界



平成10年9月水防状況



平成10年9月浸水状況(中標津町)



平成22年8月浸水状況

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。